援助する側に必要なのは、「援助される側」の視点

と、現地のスタッフらと調和できるコミュニケーション 能力だと近藤准教授は指摘しました。国際協力の現場 は、華やかなことばかりではなく、むしろ「ご近所づき あい」の延長に似た地道な営みなのかもしれません。 者から寄せられた「宿題」への「答案」から2点を近藤 准教授に選んでもらい、講評してもらいました。

る山口仲美・埼玉大教授ば」(講談社)の近著があ から掲載された。 「現代用語の基礎知識」 (自由国民社)には33年版 「若者言葉に耳をすませ

気質を指摘する。

ショ を…

読んで理解する」ことだ ・・」などと使う。 本来は「文章をじっくり 三ュ

ろ多用されている。 「時代 係では「読み解く」が近ご の多用されている。 「時代 ースを…

されている。 から

者の野村雅昭・早大教授は 「出来事を表層的に扱うテ

た気構えが感じられる。

(校閲センター

・ 広瀬集)

して解釈する」場合に転用 「現象をじっくり観察

う「読む」ではなく、囲碁 い始めたのではないか」。 みが売り物の新聞などが使 レビやネットに対し、深読 いずれも、文字を目で追

養成講座

空気を読む

ことばカ

は、この言葉の背景に若者 「対面コミュニケー

ンは苦手でも、場の雰囲気

をつかむことには敏感。

いじめに

れができないと、

は22年版から掲載した。 「新選国語辞典」(小学館)

と、アンテナをぴんと張っ近い。状況を把握しよう

紙上特別講義

9

岡山大学准教授

もっと知りたい人へ

緒方貞子一難民支援の現場から

(東野真著、集英社新書) ▽「地震と社

ーレント著、みすず書房) ▽「国際保健

(日本国際保健医療学会編、杏

上・下」(外岡秀俊著、みすず書

会

医療学」

近藤 麻理

ボランティア 国際協力と

3

助け合いの気持ち、宙に浮いた

屋

が家はLPガスで問題なか り、困る人が多かった。我市ガスの復旧に日数がかか 晩で帰宅した。近隣では都 家から歩いて5分ほどの避 難所に身を寄せた。 妊娠中で幼児もいたので、 婦、兵庫県宝塚市 で帰宅した。たれ、しか 阪神大震災のとき、私は

った。 「もし必要な方がおら そこで避難所へ出向

久下明美さん(43)=主 や風呂を使ってください」 資の食料を手渡した。 すか。これを持って帰って とだけ考えられたらどうで と申し出た。 ください」と、私に援助物 「奥さん、今はご自分のこ 私は考え込んでしまっ 職員は話を聞いた後、

(側です」と一方的に言われ 「あなたは助けられる はうれ

> の活動は成功だとはいえないでしょ さを誰かが感じているとしたら、 の心が通じ合わず、 する側がその活動に満足しても、 ルのページ数がどんどん増え、援助 るのかもしれません。防災マニュア

寂しさやむなし

らえなかったことが、一 分のできることをしようと だったのだろうか。 に行ったような形になって りで出向いたのに、 ったときの助け合いのつ も困っていない。互いに困重」だが、健康で食べ物に した気持ちを受け取っても しまった。あの職員は親切 人に助けてもらえること しい。でも私は、 物ごい

\$

を願っています。

「被災者」として

の方が知って、考えてくださること に、とてもよいアイデアを思いつか

私たちはもっと丁寧に聞く必要があ ひとくくりにされる人たちの声を、

テロのあった年のクリスマス、ニューヨ

- ク観光を楽しみました。入国審査で

喜んでいたのが印象的でした。

「観光で来た」と答えると、周りの人が

経済復興のためには、「観光に行くボ

ランティア」「思いっきり遊ぶボランテ

ィア」たちが、普通に現地に泊まり、お

いしいものを食べ、お土産を買って帰る

必要があるのです。秋の行楽シーズン、

能登や上越の観光地に出かけましょう。



ざしてもらえるような、そんな誇ら 「日本のような国になりたい」とめが、その復興に立ち上がるとき、 ちに伝わっています。 ディアなどを通じて、 の延長線上に国際協力があると思い 活の「助け、 しい日々を送りたいものです。 れた故郷を見て絶望している人たち 《石井さん》私も同様に、日常生 私たちの国内での営みは、 助けられ」の積み重ね 世界中の人た 紛争で破壊さ

《記者からの質問》

《近藤准教授の答え》

地震の被災地の自治体が相次いでボラ

善意のボランティアをなぜ拒否するの

か、というご意見もあるかと思います。

でも、私は「行かないボランティア」が

あっていいと思っています。災害から数

カ月後、経済復興に貢献することも重要

なボランティアです。私は、米同時多発

それでも復興に協力したい場合は?

これまでに、「援助される る側」との間にどんなことが あったか、体験を500字前後

側」になったとき でお寄せ下さい。

「助け、助けられ」の積み重ねから

石井史佳さん(42)=主

かがわからなかった。「あ

第3種郵便物認可

れている。 ろんな場面で助け、助けら 患者や被災者、 私たちは日常生活のい になったときに限ら

思いをした。ところが を求められ精神的に苦しい ていたとき、カ以上の仕事 子どもの学校の役員をし 「できる」と思われたい ね

かりに頑張りすぎて、

テーマに語ります。

が至っていないのかもしれません。 対等な人間同士であることに、思い

次回は、大阪教育大の福江純教授

「宇宙空間のモンスターたち」を

川県綾川町のオイスカ四国研修センターで、伊ケ崎忍撮影研修生に囲まれる岡山大学の近藤麻理准教授(中央)=香

自分を追い込む。

とは必要だ。助けを受ける 私を苦しめた。 側の見えや変なプライドは なたならできる」の言葉も てくれていた人に協力を求 SOSの出し時を知るこ 力になるから」と言っ なにかあったら言って あっさり断られた時 令は言ってはいけないと思れないなら、そんな社交辞

かなり落ち込んだ。 びのささやかな「助け、助 が、その力は日常生活の中 て養われると思う。 私は一番感謝している。 に声をかけてくれた人に、 て、本当に困っているとき 私の仕事ぶりを見てい 国際協力は大きな仕事だ

れないなら、そんな社交辞

《記者から》

者のやりきれなさや、相手と自分が に決して悪意はない。ただ、「援助 に決して悪意はない。ただ、「援助 に決して悪意はない。ただ、「援助 りました。そこの女性は「どうして ここに来るのかしら。私の国には美 る日本人が多いという話が印象に残 1Vの施設にエイズ患者を見学にく 近藤准教授への取材で、タイの い場所も素晴らしい文化もあるの

ンティアの受け入れを制限しています。

先生に 質問